

おひさま

2021. 1
Vol. 8

北茨城市民病院・北茨城市民病院附属家庭医療センター・訪問看護ステーション



新任医師からのご挨拶



ヒロカワ ケンシン

内科 広川 健信

10月から内科で勤務させていただいております広川健信と申します。

筑西市出身で、筑波大学総合診療科の後期研修医としての半年間、勤務させていただく予定です。2020年の4月から9月は、桜川市にある大和クリニックで勤務しておりました。

半年間は、北茨城に住み、北茨城を知り、医療をとおして少しでも北茨城の地域の方々のお役に立てるように精一杯努力して行きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

- 新任医師からのご挨拶・・・①
- 年頭のご挨拶・・・②
- 認定看護師紹介・・・②
- 北茨城市消防本部便り・・・③
- 「臨床検査技師」と「コロナウイルス検査」のお話・・・③
- 連携医療機関のご紹介・・・④
「北茨城中央クリニック」
- 入院患者の口腔衛生管理について・・・④



新春のお慶びを申し上げます。

今年は干支でいえば60通りの38番目の「辛丑年かのとうし」で、丑年でもある私が特別な思いで書かせていただきました。昨年は全世界が新型コロナウイルス感染のパンデミック発生により、心身のみならず経済にも大きなダメージを受けました。日米双方のリーダーが変わり、最初の年となりますが、官民一致団結し感染終息に向け、リーダーシップを発揮されることを期待する次第です。

人類は古の時代からウィルスとの闘いに打ち勝ってきた歴史があります。しかし、科学の発達した現在においても未知のウィルスからの攻撃に対し想像以上に悩まされています。私も医療従事者の一人ですが、医療機関においては、自らの感染の危険に曝されながら診療に携わっています医師、看護師、はじめ医療従事者には感謝の念に堪えません。

一方では医療従事者、その家族が誹謗中傷の対象にされている事には憤りを覚えます。本年6月頃にはワクチン提供が可能になると言われています。ワクチン接種、治療薬の開発も進み新たなステージになると感じています。

さて、「辛丑年」の「辛」とは同音の「新」につながり、植物が枯れて新しい世代が生まれようとする状態とも言われています。また、辛抱強く現実を見ている意味もあるようです。「丑」の意味を調べてみますと、中国の『漢書』では、「紐ひもどく」でもあり、曲がる、ねじるという意味も持ち、芽が種子の内部で伸びきらない状態を表しているとされています。今年、これから芽が出て成長する年であると信じています。また、牛は奈良、平安時代の古くから人々の暮らしには欠かせない動物で、水田などの農耕での労働力、牛乳、食肉として人間の生活を支えてきました。黙々と働く牛は忍耐強く、先を急がず一步一步着実に物事を進める事に例えられます。また、丑年は「忍耐強い」、「堅実である」、「誠実である」の年を表すとも言われているようです。

北茨城市民病院においては、基本方針として、「市民の生命と健康を守り、医療の質的向上を図り地域医療を支援する」ことを掲げています。「牛の歩みも千里」の例えもありますように、誠実に努力を怠らないで成果をあげる様に努めて参ります。

新年を迎え、皆様方のご健勝を祈念申し上げますと共に、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

認定看護師紹介

感染管理認定看護師 小泉 正美

感染管理認定看護師の役割は患者さんとその家族、院内で働く職員など、病院に関わる全ての人々を感染から守ることにあります。全ての人々を感染の危険から守り、治療をスムーズに受けていただけるような感染予防活動や感染対策の実践、職員への指導を行っています。

感染対策は一人で行うことはできないので、患者さんや病院職員、訪問看護師や施設職員の協力を得ながら、「手洗い」「**个人防护具の適切な使用と着脱**」「**環境整備**」に重点を置いて活動しています。

また、感染に関連した予防や対策についてのご相談を受けることもあり、院内全体を活動の場としています。



新型コロナウイルス感染症の流行も1年になろうとしています。

生活を自粛したり、日常的なマスクの着用、接触の制限など今までと違う生活を強いられ、いつ終わりが来るのかもわからず、不安とストレスが募る毎日を送っていると思います。新型コロナウイルス感染防止には、マスク着用と手指の消毒が重要となっていますが、適度な運動やバランスの良い食事摂取で体調を整えておくことも大切となります。

当院では4月から感染症外来を開設し、発熱や咳などの症状がある人を午後の時間帯で診察しております。インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症の疑いがある患者さんを別の時間帯で診察することで、定期診察に来る患者さんに安心して受診していただけたらと思います。

感染症外来へ受診希望の方は予約となりますので当院へ電話連絡していただけたらと思います。

これからも皆様と協力して感染防止に努めていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

○ 北茨城市消防本部 便り ○ 住宅用火災警報器を設置しましょう！

さて、題名にあります「**住宅用火災警報器**」が、どんな物かご存知でしょうか。就寝中でも、火災の煙を自動的に感知し、いち早く知らせてくれる優れものです。火災発生を早く知れば、素早い消火、素早い避難行動に移れます。

「**住宅用火災警報器**」が設置されている場合は、設置されていない場合に比べて死者の発生が**約4割減**、焼損面積と損害額が概ね**半減**と、その**効果は絶大**です。ホームセンター等で購入でき、誰でも簡単に設置できます。

消防法で設置が**義務づけられて10年**を超えましたが、当市は全国でもかなり設置率の低い市町村です。ご自身はもちろん、大切な人や周りの人を守るために設置しましょう。設置率 日本一を目指し、ご協力をお願いします！



北茨城市消防本部 予防課 予防係の菊池利則です。

日勤の消防職員がどんな仕事をしているか、ご存知ない方が多いかと思います。予防課は、関係法令に規定される消防同意（一定の建物は消防の同意が無いと建てられません）、立入検査、危険物規制事務、建物の消防設備の設置、維持管理指導や、防火管理指導等の事務をしています。ざっくり言うと、**災害が起こる前の対策**です。

消防隊、救急隊、救助隊で活躍する警防職員は、**災害が起こった時の「人命救助の最後の砦」**。予防職員は「**人命救助の最前線**」で、陰ながらですが、人の命を守るため、災害を最小限に抑えるための活動をしています。

臨床検査技師 と コロナウイルス検査 のお話

検査室で働いているスタッフは**臨床検査技師**という資格を持っています。専門学校や大学で必要な知識や技術を習得した後に国家試験を受験し、この資格を取得しました。

実際に臨床検査技師がどのような仕事をしているか知っていますか。よく患者さんと接しているのは、心電図、超音波、脳波検査などのスタッフ。また採血室で検査用採血を行うスタッフ。それ以外に、私たちは患者さんと接しない所でも多くの仕事をしています。

患者さんから採取された血液や尿、便等の検査。そして今コロナ禍、最前線でPCR検査を行い感染の有無を調べる仕事をしているのも臨床検査技師です。少しPCR検査と抗原検査の違いについてお話いたします。

PCR検査

新型コロナウイルスの遺伝子があるかどうかPCRという方法で遺伝子を増やして確認する方法です。

少ないウイルス量でも検出が可能で精度の高い検査といえますが、検体(喉、唾液)を専門機関で検査するため、検査結果が出るまで、搬送時間を含め数時間から数日掛かってしまいます。

抗原検査

新型コロナウイルスの抗原(タンパク)があるかどうか確認する検査です。

専用キットで(インフルエンザキットに似た)検査をし、40分程度で結果が出ます。(当院でも検査可能)しかしPCR検査と比べ、ウイルス量が多くないと正しい判定が出来ません。(PCRより感度は低い)

この2つの検査を組み合わせ、医師がコロナウイルス感染の有無を判断します。

あまり知られていない資格かもしれませんが、臨床検査技師は医師による病気の診断や治療、早期発見、予防などに役立つ情報を提供するという重要な仕事をしています。検査内容などで疑問に思ったことがあればお気軽にご相談ください。

連携医療機関のご紹介

北茨城中央クリニック 院長 出口 正夫 先生



当院は1999年に開院し、内科、泌尿器科、人工透析内科を主として治療を行ってきました。現在は週に一度、木曜日に腎臓内科の診療も行っているほか、透析治療に必要な血管の「経皮的血管形成術」も行っており、透析を主体とする腎・泌尿器科疾患の総合的な診療を行っています。

当院では治療が難しい患者様や転院の希望があった方などを、中核病院である北茨城市民病院へ紹介させていただいています。また、受診を終えた後、かかりつけである当院に患者様を戻す逆紹介も頂いており、常々大変お世話になっています。

患者様にとっても、我々医療機関の人間にとっても、北茨城市民病院はなくてはならない中核病院であります。当院が地域に貢献できる医療を提供するために、今後も緊密な病診連携を構築させていただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



【診療のご案内】 ※内科・腎臓内科は要予約
■受付時間 平日 午前8:30～11:30 午後13:30～16:30
土曜 午前8:30～11:30 午後13:30～16:15

	月	火	水	木	金	土	日
泌尿器科	午前/午後	午前のみ	午前/午後	午前のみ	午前のみ	午前/午後	-
内科	-	-	-	-	午前/午後	-	-
腎臓内科	-	-	-	午前/午後	-	-	-

■住所 〒319-1543 北茨城市磯原町豊田1-36
■TEL/FAX 0293-30-1600/0293-43-0084

○ ● 入院患者の口腔衛生管理について ● ○

当院の歯科口腔外科は地域の基幹病院の口腔外科としての役割を担っています。しかし、実は同じくらい重要な役割がもう一つあります。それは総合病院の歯科として**入院中の患者の口腔衛生管理を行うこと**です。摂食や呼吸の入り口である口の中をきれいに保つことは、体力の落ちた高齢者や術後患者の誤嚥性肺炎のリスクを減らし、結果として入院期間の短縮にもつながることが明らかにされています。そのため当科では積極的に院内の口腔ケアも行っています。

知らないとなぜ入院中に急に歯科が訪問してくるか訝しがる方もいますが、実は上記のようにきちんとした目的があつてのことなのです。広く認知してもらうにはまだまだ時間が必要ですが、この誌面を読んで少しでも病院歯科の役割を理解してもらえたら幸いです。

今後とも北茨城市民病院歯科口腔外科をよろしく
お願いします。

歯科口腔外科スタッフ一同



- 発行 北茨城市民病院
〒319-1711
茨城県北茨城市関南町関本下1050番地
TEL 0293-46-1121 FAX 0293-46-6526
URL <http://kitaibaraki.info/>
- 発行人 事業管理者 田淵崇文
- 編集 北茨城市民病院広報委員会

